

広報

# あさひまち12

平成13年  
(2001年)  
月号

NO.541 

ASAHI-MACHI



長さ14mの「のり巻き」づくりに挑戦

(親子ふれあい料理教室 12/9)

# りんごづくりの新たな挑戦



小学校の体験学習（和合小）



りんごの木オーナー制度体験作業



りんごを使った加工品



日本一の無袋ふじ

品質のすぐれたもつとも味の良いらんごとして中央市場などから高い評価を得ている町産りんご。町の基幹産業として振興を図っていますが、産地間競争は激しさを増しており、近年の価格低迷などりんご産業を取り巻く情勢は一段と厳しくなっています。また、農業従事者の高齢化や後継者不足も大きな問題になっています。そんな中、新たなりんごづくりに挑戦しているみなさん取材してみました。

# りんごづくりががんばる女性

## 清野千春さん（古楨）

昨年四月に新規就農した清野千春さん（古楨）は、父和夫さん、母和子さんといっしょにりんごづくりに励んでいます。千春さんは現在二十二歳。宮城県立農業短期大学に進学し、卒業後一年間会社勤めを経験。昨年四月に就農を決意してUターンしました。

## 就農を決意 父母の働く姿を見て

「農業を継ぐといった時、一番喜んだのがお父さんでしたね。大学に進学したといっても、果樹ではなく稲作を学んでいたので期待もしていなかった。だから、娘が継ぐと言った時は本当にうれしかったみたいですね」と、笑顔を見せるお母さん。

「遊び場所はいつもりんご山で、休みの日には家の手伝いをするのが当たり前でした。父や母が一生懸命働いている姿を見てきたからこそ、私もやってみたいかなという気持ちになった



のかもしれない。もし、父や母が『りんごづくりは大変だ。儲からない』ばかり口にしていたら、農業に就くことはなかったと思います。農業は確かに大変だけど嫌いじゃないし、自然の中で体を動かし働けることが一番の魅力。マイペースな私にあっている仕事です」と千春さんは語ります。

## おいしいりんごを 親子で作ろう

現在、清野さんのりんご畑で

は、「つがる」「スターキング」「ふじ」などを栽培。一昨年からは新品種「あじぴか」の栽培にも取り組んでおり、再来年の収穫を予定しています。

「娘が就農したことで、栽培形態を少し変えてみるつもりです。作業の効率や収入面も考え、「ふじ」を減らして「あじぴか」を増やそうと考えています。またこれからは、娘の意見も十分取り入れてやっていこうと思っています。今の消費者が求めていることなどは、長年やってきた私たちよりも若い世代の方が敏感です。娘が何か新しいことに挑戦したいといった時には協力したいと思っています」と話す和夫さん。自身も千春さんが就農したことで、農業に対する意欲がますます湧いてきたといいます。

「今は父が中心のりんごづくり。でも、いつかは一人前になって認められたいです。それに、もっともっと勉強しなければなりません。いろんな会合に積極的に参加して、知識や情

報を得たいと思っています。でも、どの集まりに行っても若い人が少ないのでちょっと残念に思います。周りに同年代でりんごを作っている人がいると、相談もしやすく心強いのですが…。りんごづくりは、やればやるだけ成果があらわれるので、とてもやりがいのある仕事だと思います。おいしいりんごを作っていることに誇りを持ってほしいなって、そう思います」。

## ゆとりある 農業を

「仙台に住んでいて感じたことですが、朝日町のりんごってあまり知られていないですね。宣伝が足りないのかなと思います。朝日町りんごのおいしさをたくさんの人に知ってもらいたいです。直接販売できる機会があれば出かけて行って、お客様の声をぜひ聞いてみたいです

ね。そして、生産者の思いも消費者に届けたいと思っています。それと、もっと余裕のある農業をしていきたいですね。天気が悪ければ、『今日はりんご温泉にでも行こうか』ぐらいのゆとりを持ちたいですね。生産者も楽しくいきいきと仕事をしないと、おいしいりんごは作れませんからね」と話す千春さんでした。



# ハレふじのりんごづくり

井澤壽一さん、清美さん（夏草）



井澤さんのりんご畑から見えるすばらしい景色

肩を並べて仲良く作業に励む井澤さんご夫婦（夏草）。約一・五ヘクタールのりんご畑を二人で切り盛りしています。

現在、試験栽培のものを含めて数品種栽培。特に、町センターりんご組合（近衛正雄組合長）の十五人の仲間が集まって実践している「葉っぱをとらないふじの栽培」に力を入れて取り組んでいます。

## 葉とらず

## 栽培の確立

通常無袋ふじは、着色をよくするために果実の周りの葉を摘み、反射シートなどを使用しますが、葉とらずふじは葉摘みも行わず、シートも使用せずに育てられます。葉は本来、太陽の光をいっばいに浴びて養分を作ります。収穫近くになると、葉で作られた養分はソルビトールという糖の一種に形を変えて果実に運ばれます。大量に運ばれたソルビトールは果実の維管束（水や栄養の流れる通路）から

「ハレふじ」の「ハレ」は市場でよく使われる縁起のいい言葉なんですよ



もれて細胞と細胞のすき間につまります。これが蜜入りりんごです。葉とらず栽培は、葉をとらない分だけ余計に養分が作られるので、糖度、硬度、熟度ともに良質のりんごが実るといえます。

自然の状態に最も近い方法で育てられる究極のりんごといえますが、肥やしとの与え方や剪定の仕方、樹木の管理など卓越した技術がなければこの栽培はできません。井澤さんも「葉とらず栽培に取り組んでから五年になります。最初の一・二年は

失敗の連続。三年目でようやく出荷できましたが、市場の反応はよくなかった。新しい商品ということで、出荷一年目はあまり興味を持ってもらえなかったですね。しかし、四年、五年と年を重ねるごとにいいものができるようになり、市場の反応も上がってきました。仲卸が買い付けに来るくらいになりましたよ」と話します。

今年が生産者全員で百五十本を栽培し、十キロ詰め二千ケースを出荷しました。商品は「ハレふじ」という愛称で、主にギフトとして都内のデパートなどで売られています。

## 将来を見据えた

## りんごづくり

全国の有名産地でも、葉とらずりんごの栽培に挑戦していますが、確立までには至っていません。朝日町は全国の一步先行く位置にいます。朝日町が先行する理由として、無袋ふじ発祥の地としての高度な栽培技術を前々から持っていること。新しい商品を開発しようと生産者が努

力を重ねてきたことなどが挙げられると思います。

「これは、将来を見据えた取り組みの一つ。他にない、めずらしいものを欲しがる消費者ニーズに合った商品を開発したくて葉とらず栽培に取り組みました。他産地の動きが遅れているので、朝日町にとってはチャンスだと思えます」。また、「生産コストが押さえられるのも葉とらず栽培のいいところです。葉

摘み作業を省くことで人件費が減らせ、反射シートなどの購入経費も節約できます。生産者の高齢化、人手不足が予想されるこれからは、いかにコストを減らして収入を得るかだと思えます。先輩たちの良き技術を受け継ぎながら、新たなりんごづくりに挑戦していきたいと考えています。

近い目標としては「ふじ」に続き「つがる」や「あじびか」も葉とらず栽培をしたいと思っています。「ハレりんごシリーズ」としてぜひ商品化したいですね。消費者に喜んでもらえる品物が作れるようがんばります」と話してくれました。

大きな夢としつかりした経営ビジョンを持ち、奥さんと二人三脚でりんごづくりに励む井澤さん。二人でいきいきと楽しく働く姿から、りんごにかける熱い思いが感じられました。

## 加工分野で新たなチャレンジ

### 朝日町農業研究所

町の農業振興を目的に、朝日町農業研究所が設置されてから十年がたちました。農家のみなさんと共に考え活動する機関として、さまざまな調査研究に取り組んでいます。

### 世界のりんごで加工に挑戦

併設されている世界のりんご園には、現在十三カ国約百八十八品種のりんごの木が植栽されています。研究所では昨年、りんご加工の研究を進めるために、世界のりんご園のりんごを、す

べてもぎ取りジュースにしてみました。その中で、ひときわ目を引くジュースがありました。鮮やかな赤色をした「ジェネバ」というジュースでした。

ジェネバは、八月下旬に収穫期を迎えるカナダ産のりんごで、外皮も果肉も鮮やかな赤色をしているのが大きな特徴です。りんご酸とカテキンが多く含まれており、ふじとの比較では、りんご酸が約四倍、カテキンは約五倍多く含まれています。カテキンは、抗ガン、高血圧に効果があるといわれており、大変健康によいりんごといえます。

ジュースにしてそのまま飲むと、酸味が少し強いように感じます。しかし、水などで薄めることにより渋みやすっぱさが抑えられ、色も淡いピンク色になり見た目も美しく変化します。焼酎と炭酸で割ったところ飲み口がよく、女性好みのおいしさになりました。



現在、町内一部飲食店の協力を得て「ジェネバサワー」の消費動向を調べています。小料理店、さらくの店主長岡峰雄さんは、「りんごのお酒という珍しさで注文される方が多いです。普通の店では甘いりんごジュースをそのまま割って使うところが多いので、りんごのお酒は甘いというイメージがありますが、ジェネバサワーは味がすっきりしているのとでも人気がありますよ」と話してくれました。

### 加工用りんごとして大きな期待

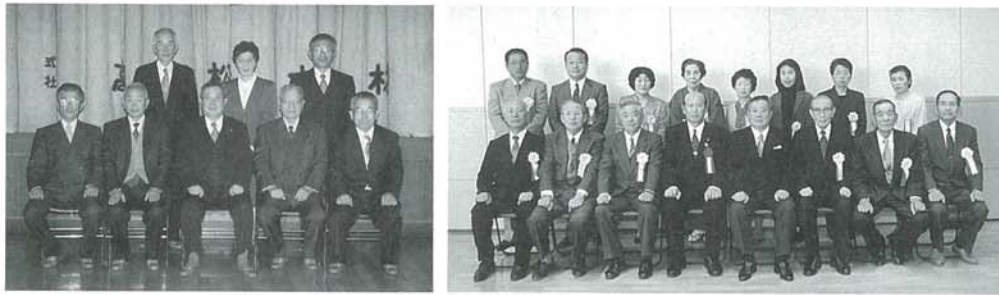
「ジェネバは葉摘みや玉返し作業が不要なので、ほかのりんごと比べて手間がかかりません。

台風前に収穫でき、天候による打撃が少ないのも利点です。加工用りんごとして需要が伸びるよう、さらに加工用途を研究していきたいと考えています。できれば企業とタイアップした形で商品化できればと思っています」と、農業研究所の渡辺政一主任研究員。実はこのジェネバ、すでに大手酒造メーカーの商品原料として使用されています。二軒の農家が契約栽培しており今年は一トン出荷しました。

色、風味、成分、いずれも魅力があるジェネバ。加工用として大きな期待がもてます。今後農業研究所では、シャーベットの加工試験や、花芽を使った「さくら湯」ならぬ「りんご湯」の開発に取り組み考えです。このほか、ガムやアイスクリーム、ドレッシングなどの研究も進めたいと考えています。

# まちづくりの功労者を表彰

平成十三年度朝日町自治功労者等表彰式が過日行われ、表彰状と記念品が贈られました。受賞されたみなさんは次のとおりです。(順不同)



平成13年度朝日町自治功労者等表彰を受賞されたみなさん

## 自治功労表彰

▽白田和好さん(大谷一)  
平成5年から2期8年間、教育委員会委員・委員長職務代理を歴任。教育文化の振興発展に寄与されました。

▽白田慎一さん(大谷六)  
昭和63年から4年間大谷第六区長・平成4年から9年間大谷連合区長を歴任。町政の円滑な推進と地方自治の発展に寄与されました。

## 教育文化功労表彰

▽鈴木久夫さん(沼向)  
昭和57年から18年間社会教育委員・昭和63年から13年間芸術文化協議会長を歴任。芸術文化の振興発展に寄与されました。

## 産業功労表彰

▽鈴木武さん(元町)  
昭和61年から15年間土地改良区理事長として、町内土地改良区の一歩に尽力。土地改良区経

営の安定に貢献されました。

▽五十嵐政志さん(中沢)  
平成元年から12年間、土地改良区理事として、大谷地区営ほ場整備事業の完成に尽力。農業経営の安定に尽力されました。

▽渡邊幸雄さん(大谷一)  
平成元年から12年間、土地改良区理事として、大谷地区営ほ場整備事業の完成に尽力。農業経営の安定に尽力されました。

▽浅井重弥さん(本町)  
昭和53年から24年間商工会理事・昭和38年から38年間建設総合組合事務局長を歴任。産業振興の発展に寄与されました。

## 社会福祉功労表彰

▽大谷五助さん(大谷一)  
昭和44年から32年間民生児童委員・同協議会会長として要援護家庭等の自立更生指導に尽力。福祉の向上に寄与されました。

▽大野孝さん(小原)  
昭和61年から15年間民生児童委員・同協議会副会長として要援

護家庭等の自立更生指導に尽力。福祉の向上に寄与されました。

▽白田光郎さん(常盤)  
昭和62年から14年間、民生児童委員・同協議会副会長として要援護家庭等の自立更生指導に尽力。福祉の向上に寄与されました。

▽阿部喜由さん(大暮山)  
昭和46年から30年間、民生児童委員として要援護家庭等の自立更生指導に尽力。福祉の向上に寄与されました。

▽長岡嘉一郎さん(大谷六)  
昭和52年から24年間、民生児童委員として要援護家庭等の自立更生指導に尽力。福祉の向上に寄与されました。

▽長岡ムツコさん(大谷五)  
昭和58年から18年間、民生児童委員として要援護家庭等の自立更生指導に尽力。福祉の向上に寄与されました。

▽松尾信朋さん(松原)  
平成元年から12年間、民生児童委員として要援護家庭等の自立更生指導に尽力。福祉の向上に寄与されました。

▽遠藤敏子さん(真中)  
昭和49年から26年間、母子保健推進員として母と子の健康保持増進に尽力。福祉の向上に寄与されました。

## 善行褒賞

▽渡邊時子さん(大谷四)  
大谷四区内のごみ集積所が不足しているため、自らの敷地を提供。さらに集積所の清掃を行うなど、多年にわたり地域の環境美化に奉仕されています。

## 技能者表彰

▽成原恵子さん(前田沢)  
35年間、美容職に精励。技術の向上と業界の振興発展に寄与されています。

▽鈴木和枝さん(栄町)  
32年間、美容職に精励。技術の向上と業界の振興発展に寄与されています。

▽長岡さき子さん(大町)  
36年間、理容職に精励。技術の向上と業界の振興発展に寄与されています。

▽布施美代子さん(西町)  
26年間、理容職に精励。技術の向上と業界の振興発展に寄与されています。

▽佐藤美喜子さん(本町)  
40年間、理容職に精励。技術の向上と業界の振興発展に寄与されています。

▽安藤英雄さん(西船渡)  
37年間、左官職に精励。技術の向上と業界の振興発展に寄与されています。

# 福祉の身近な相談役

## 〈民生児童委員を新たに委嘱〉

任期満了にともない、十二月一日付けで新たな委員が委嘱されました。十二月四日には中央公民館で委嘱状交付と協議会総会が行われ、同協議会の会長に鈴木たかさん（西町）が選出されました。

※カッコ内は担当地区名を表示。任期は平成十六年までの三年間。

【民生児童委員】▽本町・長岡藤太郎（本町）▽西町・鈴木たか（西町）▽栄町・村山美恵（栄町）▽助ノ巻・布施ミツ子（助ノ巻、雪谷）▽大町・安藤チヨエ（大町）▽大町・松尾みさ子（大町、緑町）▽元町・清野武夫（元町、西原）▽前田沢・倉澤美津子（前田沢、新宿）▽四ノ沢・長岡満智子（四ノ沢）▽宿・後藤治三郎（小原、宿）▽



清野町長より委嘱状が手渡された

沼向・菊地治夫（沼向、大隅、平）▽送橋・渡辺節子（古楨、送橋）▽下芦沢・岡崎勝子（下芦沢）▽水本・岡崎光夫（水本）▽杉山・藤沢盛治（杉山、松原）▽宇津野・細谷清一（宇津野、大滝）▽常盤・阿部健一（常盤）▽夏草・橋本藤雄（夏草、長沼）▽西船渡・海野千代子（西船渡）▽八ッ沼・登坂ひかる（八ッ沼、高田）▽能中・鈴木たか子（能中）▽太郎一・小川久子（太郎一、太郎二）▽太郎三・長岡洋子（太郎三、石須部）▽白倉・渡邊友吉（立木、白倉）▽松程・阿部富美男（松程）▽今平・阿部功一（大船木、今平）▽大谷二・畑俊美（大谷一、大谷二）▽大谷三・白田昭吉（大谷三、大谷四）▽大谷五・川村良一（大谷五）▽大谷六・保利勲（大谷六）▽中沢・堀健吾（大谷七、中沢）▽真中・遠藤清蔵（舟渡、真中）▽栗木沢・菊地徳一（栗木沢、川通）▽大暮山・鈴木功助（大暮山）▽大沼・小林睦子（大沼）

【主任児童委員】▽四ノ沢・堀光子▽西町・小林秀子



## 都会の子どもたちに 覚えてもらおう 本物の味

杉並区の小学校に町産りんごをプレゼント

十一月二十八日、東京都杉並区立香掛小学校で、「りんご交流会」を開催しました。将来の消費者となる都会の子どもたちに、おいしいりんごを味わってもらい、本物の味を覚えてもらおうと行ったもので、清野町長とJAさがえ西村山の菊地組合長が訪れ、五百三十人の児童一人ひとりに町産りんごをプレゼントしました。

贈られたりんごは、葉っぱをとらずに栽培した「葉とらぶじ」約七百個。町センターりんご組合（近衛正雄組合長）より寄付していただいたものです。この日は「朝日町のりんごができるまで」をテーマに特別授業も設けられ、農林課の川口幸男主査が本物のりんごやビデオを使ってくわしく紹介。子どもたちは熱心にメモを取ったり、「一本の木でどれくらいとれるのですか？」などと積極的に手を挙げ質問していました。また、「蜜がたくさん入るように農家の人が苦労して作っていることがよくわかりました」「ほくももぎ取りをやってみたいです」「朝日町に行ってみたいな」と感想を話していました。この交流会は、来年度も行う予定です。こうした地道な活動によって消費が伸び、町のりんご産業がより一層栄えることを町では期待しています。

## ふるさとCM大賞 特別賞に輝く

このたび、町が制作・出品したテレビCMが「やまがたふるさとCM大賞」の特別賞（演出賞）を受賞しました。これは、昨年からの山形テレビ（YTS）が、県内市町村のふるさと情報を、コマーションルにして出品してもらおうと企画したコンテストで、今年で2回目です。

町では若手職員六人によるプロジェクトチームを編成し、夏から制作に取りかかりました。今回のテーマは、県内で話題になっている「ダチョウ」に設定。撮影中は、ダチョウに追い回され転倒するハプニングもありましたが、無事完成。受賞した作品は、YTSで年間九十本放送され、町の宣伝に一役買う予定です。



# 町の産業を 大いにピール



りんごジュースのききくらべ。品種によって異なる味を見事当てられるか！



「りんごパイを作ってみ隊」のメンバーが長さ15mのアップルパイづくりに挑戦

第二十二回朝日町産業まつりと第二回朝日町りんごまつりが十一月十七日、十八日の二日間にあたり同時開催されました。

会場となった町民体育館では、町内の企業や商店で生産、販売されている製品や商品の展示販売が行われ、創遊館ではりんご品評会に出品されたりんごを販売。町内外から約三千五百人が訪れ、お目当ての品を買い求めていました。また、もちつき大会、りんご早食い競争、りんごつりなど、楽しいイベントが繰り広げられ、町の産業を大いにPRしました。



3分間でどのくらい食べられるか。りんごの早食いにチャレンジする子どもたち

## 第21回朝日町りんご品評会

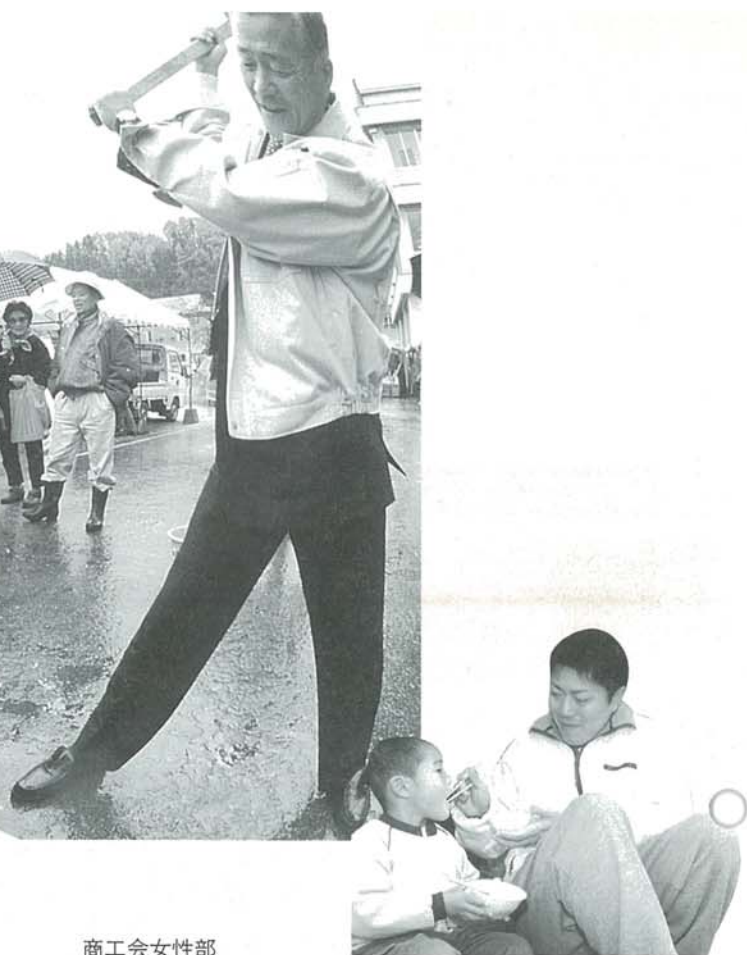
〈出品数157点〉

- 最優秀賞 村山 茂雄 (大谷七)
- 優秀賞 佐竹 正二 (八ツ沼)
- 金賞一席 菅井 誠吾 (沼 向)
- 金賞二席 菅井 英幸 (沼 向)
- 金賞三席 阿部多紀子 (夏 草)





体育館前ではもちつきが行われ、来場者に無料でふるまわれた



商工会女性部  
手づくりのあったか三平汁は「おいし〜い」



ダチョウの卵の蜜ロウアート体験コーナー



空くじなしのお楽しみ抽選会



「どれにしようかね」。試飲をしてワインを選ぶお客様



体育館では町内企業・商店の製品・商品が展示販売された

カメラさんぽ

第22回産業まつり&第2回りんごまつり

# まちの話題

## ① 宮宿小学校収穫祭



千本杵を使ってもちつき



かぼちゃのプリンづくりに挑戦

### 育てたお米で もちつき体験

総合学習の一環として宮宿小学校（安達義美校長）の5年生が取り組んだ稲の栽培。その実りに感謝する収穫祭が12月2日、田んぼの先生今井正仁

さん（新宿）と鈴木俊昭さん（助ノ巻）を迎えて同小体育館で行われました。

春の田植えから秋の稲刈り・脱穀までを体験し、もち米2俵を収穫した子どもたちは「とても大変だったけれど、おいしいお米がとれてうれしい」と、初めての体験に大満足の様子。感謝の心を込めて勇壮な宮小豊年太鼓を演奏

した後、父兄を交えてもちつきを行い、やわらかな杵つきもちを存分に味わいました。

また、前々日には、畑で育てたかぼちゃを使ったプリンづくりににも挑戦。プロの菓子職人、永勝堂の布施裕一さん（大町）の指導を受けて、じょうずに焼きあげました。

## ③ 第22回女性まつり

### いきいきと 輝く女性になろう

町内の婦人若妻会員約400人が集まり第22回女性まつりが12月2日、創遊館で盛大に開催されました。

午前には女性文化教室の発表会が開かれ、着付、民謡、リフォーム、大正琴などの団体が日ごろの学習成果を披露しました。

午後からは「女性が輝く時」と題して、元上山市教育長小関文助さんの講演が行われ、「笑顔が絶えない、自分や人（社会）のために何かしている、前向きな生き方をしている女性はとても輝いています。みなさんも輝く女性になりましょう」という小関さんの話に、参加者は深くうなずきながら熱心に聞き入っていました。



## ② 各種大会成績

### ● 県中学校新人総合体育大会 南ブロック大会

2位/剣道男子団体、剣道女子団体、女子バスケットボール、白田 隆典（剣道）、清野 美奈（剣道）

3位/卓球女子団体

### ● 県中学校新人総合体育大会剣道大会

2位/女子団体

3位/男子団体、白田 隆典

### ● 寒河江西村山地区中学校英語弁論大会

暗唱の部1位/鈴木 裕子

### ● 寒河江西村山地区中学校弁論大会

優良賞/長岡 幸代

努力賞/菅井さとり

### ● 寒河江青年会議所主催児童文化賞

大賞/上郷小学校

特別賞/大沼地区子ども会

奨励賞/中学生ボランティアサークル「きりり」

奨励賞/宮宿小学校5年エコクラブ

奨励賞/渡辺 大貴（宮宿小5年）

## 5 防火指導訪問



### 高齢者世帯に 火の用心呼びかけ

火災が発生しやすい時期を迎えた11月末、女性消防団員と朝日分署員が高齢者世帯宅を訪れ、防火を呼びかけました。

この防火指導は毎年行っているもので、今年は36世帯を訪問。実際にガスのまわりや風呂釜の周辺などを見て安

全点検を行いました。

訪問を受けた鈴木静江さん(助ノ巻)は、「火事はおっかない。周りにも迷惑かけるし、住む所もなくなってしまう。気をつけないと…」と話していました。

寒さ厳しい冬を迎えました。みなさんの家庭でも雪が積もる前に、煙突の状態や避難口の確保、消火器の有効期限などをもう一度チェックしてみてください。

## 4 農林水産大臣感謝状受賞

### 農業経営統計調査に貢献

長年農林水産統計調査に協力されている佐藤賢一さん(宿)に、農林水産大臣より感謝状が贈られました。

佐藤さんは、昭和56年から今日までの20年間、農林水産省が実施している農業経営統計調査農家として、農家の経済動向の調査に協力。

受賞に際して「農業収支だけでなく、家計のすべて、年金の受給や孫の保育料なども報告しなければならず、大変な面もありますが、わが家の記録が何かの役に立つのであればうれしいですね」と話してくれました。



## 7 犬と園児のふれあい交流会

### ボクと 友だちになってワン!

11月29日、さゆり保育園に4頭のワンちゃんが訪れました。大江町の伊藤繁則さんが自宅で飼っている犬を連れて来て、フリスビーキャッチや縄跳びなどの技を見せてくれました。

「警察犬、盲導犬、介助犬、災害救助犬などは私たち人間の手助けをしてくれます。みなさんも犬とお友だちになってください」との言葉に、園児たちは「はい」と大きな声で答えていました。



## 6 親子ふれあい料理教室



### 長さ14メートルの のり巻きづくりに挑戦

12月9日、中部公民館主催の親子ふれあい料理教室が開発センターで開かれ、親子13組27人が参加して巨大のり巻きづくりに挑戦しました。

この日使われた材料は、米6キロにのり70枚。具には卵焼き、キュウリ、

カンピョウ、うめ、しその葉などを入れ、特製ジャンボすのこを使ってみんなで一斉に巻きあげました。

できあがったのり巻きの長さは、なんと14メートル。すべて残さず、みんなペロリと平らげました。

参加した菅井桃香ちゃん(大町)は、「なが〜いおすしが、じょうずにできてよかった」とうれしそうに話し、とてもおいしいように食べていました。

# みんなのひろば



送橋 / 相座

淳子さん 正さん

## 新婚さん

大学時代に知り合った二人。送橋が好きで、卒業と同時に帰ってきた正さんと、仙台に就職した淳子さんは、約1年半遠距離恋愛を経験。お互いに忙しい時間をやりくりして、月に2、3回仙台と朝日町を行き来したそうです。

現在、正さんは山形の会社にお勤め。淳子さんは正さんの両親と一緒にりんごもぎを手伝っています。月に一度、宮宿まで歩いて買い物に行くそうで、「知り合いの人が声をかけてくださることがあります。それに、小学生が元気よくあいさつをしてくれることもうれしいですね」。また、学生時代の友人に朝日町と朝日村をよく間違えられるそうで、「宣伝がちょっと足りないのかな？」と町のPR不足も指摘してくれました。

3月には新しい家族が増える予定で、「明るく楽しい家庭にしたい」と笑顔で語るお二人。お幸せに。

## すてきな仲間たち

(76)

中学生ボランティアサークル「きらり」

心があつたか〜くなるボランティア活動



結成して3年目という若いサークルですが、これまでの活動実績が評価され、今年、寒河江青年会議所主催の児童文化奨励賞を受賞することができました。

現在は、ちょっとだけ寂しい4人のメンバーで活動しています。創遊館での月2回の例会のほかに、「保育園での奉仕作業」「講演会時の託児協力」「Y Yボランティアフェスティバル」「クリスマス子どもの集い」など、幅広く充実した活動をしてきました。

3年生のみのサークルなので、私たちのボランティア精神を引き継いでくれる後輩のいないことが、大きな悩みです。中学1・2年生でちょっとしたボランティアで心をあつたか〜くしてみたい人は、迷わず声をかけてくださいネ。

(事務局/生涯学習課社会教育係 ☎67-2118)

年末年始休館のお知らせ  
12月29日(土)から1月3日(木)まで休館となります。

「曼陀羅道」 坂東真砂子 著  
戦中にマレー半島に渡った富山の薬売りとその現地妻となった部族の娘。そして現在を生きる孫息子夫婦。二つの人生を通して描かれる戦争、家族、男女の愛と性。時空を越えて、壮大な愛憎劇が奏でられる。

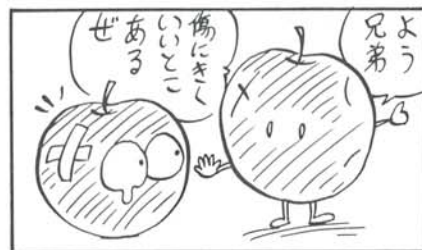
「沈黙者」 折原 一 著  
「おまえはいつた誰なんだ」警察でも裁判所でも、そして刑務所でも、自分の身を一切明かさな謎の男。そして、二家族六人を一夜にして殺害した凶悪殺人事件の真犯人は？

「小さいときから考えてきたこと」 黒柳徹子 著  
今の私が考えることは、五歳の時とあまり変わらない。思ったこと、考えたこと、考えさせられたこと。緊迫のアフガニスタン報告も収載。

「天保世なおし廻状」 高橋義夫 著  
幕閣の不正を告発する廻状が大坂から江戸へ放たれた。廻状の差出人は亡き大塩平八郎。しかし、使者の仙吉は道中何者かに襲われ、廻状は闇に消える。世直しに命と知謀の限りを尽くした男たちを描く歴史巨編。



今月のおすすめ  
町立図書館新刊案内



渡辺恵美子さん(大谷五)

ひとことトーク

県民ミュージカルに参加して

県民の芸術文化に対する創造・参加意欲を高めようと企画・製作された「山形ミュージカル」。一般公募により渡辺さんをはじめ23人の出演者が選ばれた。平成11年秋から3年間稽古を重ね、今年9月23日に県民会館で公演。大盛況をおさめた。

歌うこと、踊ること、演じることが好きというだけの未経験者、年齢も職業も地域も違う人々が集まりスタートした県民ミュージカル。歌唱、ダンス、演技の基本レッスンをただ週三回、二年半繰り返し返した。途中、「私の求めているものは何？」と思うことも幾度かあった。しかし、今年九月二十三日の本番を終え、完成したビデオを見た時、大きな舞台で思う存分楽しんでる自分たちの姿を見て感涙した。「すべては、この日のためにあったんだ」と…。

緊張したオーディション、吹雪の中の練習、去っていった仲間たち、大ホールでの稽古、プロの先生からの指導、たくさんのスタッフの支え。そして何よりもあこがれのミュージカルに出演できた幸せ

人生はあつという間。それなら楽しく元気に生きてみたい。人との出会いを大切に、協力してくれた家族に感謝しつつ、一生のはまり役「わがまま娘」を演じていこう。

健康と福祉 (17)

あわこれ

教えて！保育園のこと



保育園は、どうなっていますか。



基本的に午前8時30分から午後4時までとなっていますが、

仕事の都合で朝早くから夕方遅くまでの保育を希望する方が多くなっています。現在は、その希望者に限り午前7時40分から午後6時まで延長保育を行っています。



以前住んでいた町では、保育園を月に一度開放していました。私も下の子どもを連れて遊びに行っていました。朝日町でもしていますか。

未入園児を対象にした子育て支援事業を行っています。さゆり保育園は「わんぱく広場」、ふたば保育園は「なかよしルーム」、わかば保育園は北部公民館との共催で「交遊の広場」を開設しています。子育ての悩みなどの相談も行っています。くわしくはお知らせ板でお知らせしますので、気軽に遊びにきてください。



町内には「さゆり」「ふたば」「わかば」の三つの保育園があり、定員は合計で240人となっています。



3歳未満児も入園できるのですか。



3歳未満児を保育できる施設は、現在のところ、さゆり保育園一カ所となっています。近年1・2歳児の申し込みも増えてきており、今後検討しなければならぬ課題になっています。

▼保育園に関するお問い合わせは、健康福祉課福祉係(☎67-2116)へ

# 町民の声

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。  
町に対する意見や要望、みなさんの周りでの出来事や話題、  
日ごろ感じていること、イラスト、質問などお待ちしております。

■あて先/〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地  
朝日町役場企画課 企画広報係  
(☎67-2112 FAX67-2117)  
■Eメール/kikaku@town-asahi-yamagata.com

〈続〉

## 子育てについて一言

**先** 月号の「子育てについて一言」について、私も大賛成というか、同意する点が多々あり、同じ考えの方がいらっしやるんだなと思いつつ読んでいただきました。

でも、最後の方の「いつでも安心して子どもを遊ばせられる施設がほしい」という意見に対して、町からの回答がなく大変残念に思いました。ぜひ回答をお願いします。  
【匿名】

**答** おたよりありがとうございます。

幼児が自由に遊べる施設については、専用施設となると財政的な問題もあり、早急な実現は困難です。公共施設の一室を開放するにしても、ある程度の安全対策や防音対策などが必要になってきます。また、ほかの会議などもありますので、常時開放は難しい状況です。

町では、町民のみなさんと町の考えを合わせた良策を検討してまいります。ぜひ町民のみなさんからも、いいアイデアや意見をお聞かせいただきたいと思います。  
【健康福祉課】

**先**

月の町民の声に掲載された「子育てについて一言」へ感じるままにつづらせていただきます。

私なりに思うのですが、小さいときだからこそ母親といっしょにいられる、母親がいろんな世界をつくってあげられるわけばかりが遊びではないと思えます。例えば、散歩の途中でドングリを拾ったり、葉っぱでお面などを作って遊ばせることも立派な遊びだと思うのです。

親といっしょに、家族といっしょになって遊ぶということが何よりも大切なことだと思います。  
【紙上匿名希望さん】

## 町民の声のハガキ回数を減らしては

**毎** 月町民の声のハガキが広報紙に折り込まれていますが、全体でどのくらい使っているのでしょうか。私はこれまで使ったことがなく、かなりムダなように思います。回数を減らしたらいかがですか。

**答** 町民の声のハガキは、広報クイズの応募や、町への意見や要望・質問、身近な

【匿名】

きごと、心温まる話題などを書いて送っていただきたいと、毎月広報あさひまちに折り込んでおり、月に三十通ほど使用されています。ご指摘のあった回数を減らすことについては、今後使用数をみながら検討してまいります。

広報紙にハガキを折り込む一番の目的は、できるだけ多くのみなさんの声を聞いて、それをまちづくりに生かすことです。

最近、匿名で意見や要望を寄せていただく方が多くなっています。匿名の場合、不明な点があっても確認することができませんし、回答を差し上げることができません。

匿名希望の場合でも必ず住所と名前を書いてお送りください。たくさんのおハガキをお待ちしています。

【朝日町広報委員会】

郵便番号		9901442	
〒	990	1	442
朝日町大字宮宿二一五番地			
朝日町役場内			
広報あさひまち 御中			
姓	名	姓	名
〒	〒	〒	〒
〒			

図書券が当たる

広報クイズ



【問題】

①右の写真。おもしろい感じがスラリ勢ぞろい。第二十一回朝日町○○○品評会」

②朝日町制作のCMが特別賞を受賞。やまがた○○○CM大賞」

③十二月二十一日(金)にオープン。朝日○○○スキー場」

【応募方法】

正解を「広報あさひまち」の折り込みハガキに書いて送ってください。正解者の中から抽選で三人の方に図書券をプレゼントします。また、広報記事に対する感想やみなさんのおたよりをお待ちしています。

【十一月号の答え】

①芸術文化 ②あしぴか

③水本

【応募者総数】二十一一人  
【当選者】伊藤としさん(四ノ沢)、安達冷子さん(本町)、片桐修平さん(寒河江市)



すこやかに

(出生届)

四ノ沢	田中	都 <sup>きと</sup> 恵 <sup>え</sup>	女	靖	士
栄町	朽木	千 <sup>ち</sup> 尋 <sup>ひろ</sup>	女	英	之
大町	長岡	空 <sup>か</sup>	男	貴	幸
大滝	齋藤	瑞 <sup>みず</sup> 穂 <sup>ほ</sup>	女	広	治
助ノ巻	深澤	大 <sup>だい</sup> 樹 <sup>き</sup>	男	雅	人



おしあわせに

(婚姻届)

鈴木吉彦	齋藤真由美
(大谷四)	(村山市)
阿部孝幸	佐藤幸子
(今平)	(山形市)
近衛智之	古澤こずえ
(大隅)	(西川町)
柴田喜述	阿部直美
(助ノ巻)	(大町)
白田太一	海谷魅奈子
(大谷三)	(山形市)
富塚齐	白田智美
(東根市)	(大谷二)



やすらかに

(死亡届)

区名	死亡者氏名	世帯主
栄町	多田みつ子	健一
大谷二	渡邊英	勝美
大谷二	櫻井勝太郎	美代子
長沼	海野仙吉	久
前田沢	志藤せよし	武男
西町	安藤ちよ子	八郎
太郎二	長岡仙之助	正博
送橋	相座榮太郎	榮宏
太郎三	後藤つるの	廣
太郎三	長岡幸一郎	幸司
四ノ沢	阿部みよ	本人
松程	阿部せい	光春
大谷一	兼子金太郎	正昭
大町	伊藤正美	俊也
松原	長岡喜久	利幸

人口と世帯数

●平成13年11月30日現在

人口	9,352人(減 12人)
男	4,649人(減 9人)
女	4,703人(減 3人)
世帯数	2,583戸(増 2戸)
	( )内前月比

くらしの知恵袋④



柴田泰子さん  
(四ノ沢)

りんごの豚肉巻き

甘酢あん 307Kcal/1人あたり

●材料(5~6人分)

- 豚ロース(うすぎり) …300g
- りんご …1個
- 塩・コショウ …少々
- 片栗粉・揚げ油 …適量
- グリーンピース …少々
- しょうゆ …大さじ3
- ケチャップ …大さじ3
- 酢 …大さじ3
- 砂糖 …大さじ2
- 水 …大さじ5
- 水溶き片栗粉 …大さじ1

●作り方

- ①りんごは皮をむき、5ミリの厚さのくし形に切っておく。
- ②豚肉に塩・コショウをふり、りんごを包み、片栗粉をつけて油で揚げる。
- ③ナベに甘酢あんを材料をあわせ、火をかけ、水溶き片栗粉でとろみをつける。
- ④揚げておいた②のりんご巻きをからめ、最後にグリーンピースをちらして火を止める。

りんごのおろしあえ

63Kcal/1人あたり

●材料(5~6人分)

- 味付けタコ …80g
- きゅうり …1本
- 生ワカメ …10g
- りんご …1個
- 塩 …少々
- りんご酢 …大さじ3
- だし汁 …大さじ3
- 砂糖 …大さじ1.5

●作り方

- ①タコを薄切りにする。きゅうりは薄切りにして塩を少しあてておく。ワカメは小さく切っておく。
- ②りんごはすりおろして、あかくなならないように少し塩を入れ、りんご酢・だし汁・砂糖を加えてよく混ぜる。
- ③②に①の材料を入れてあえる。

『りんごの豚肉巻き甘酢あん』 豚肉には疲れをとるビタミンB<sub>1</sub>やB<sub>2</sub>が豊富に含まれており、また、りんごや酢の酸味も疲労回復に効果があります。疲れや、だるさを感じたときに最適の料理です。

『りんごのおろしあえ』 わかめのクロロフィル(=葉緑素)と繊維のはたらきはコレステロールを低下させます。また、すりおろしたりんごに含まれているペクチン(食物繊維の一種)は、脂肪の吸収を抑制します。こってりした料理のときのもう一品としておすすめ料理です。【健康福祉課 管理栄養士 村山智美】





## 山形県明るい選挙啓発ポスター 特選

大谷小学校3年 五十嵐望さん (中沢)

選挙の啓発を目的に県選挙管理委員会が募集した「明るい選挙啓発ポスター」の特選10作品に、五十嵐望さん(大谷小3年)の作品が輝きました。県内小中学生の作品2432点の中から選ばれたもので、朝日町ではこのほか、村山瑞貴さん(大谷小2年)、岡崎弥生さん(水本小3年)、佐藤央規くん(宮宿小5年)、清野友麻子さん(朝日中2年)の作品が入選。大谷小学校が優秀校に選ばれました。



## 自然観スキー場 12/21(金)オープン



第一・第三日曜日は、小学生以下のリフト料金が無料。

また、リフト一日券に昼食券をプラスした「ウィークデー日帰りパック」や女性のリフト券が半額となる「レディースプラチナチケット」など、平日限定のサービスも充実。

さあ、みんなで朝日自然観スキー場へかけよう!

### ▼主なイベント

- 12/21(金) オープニングデー  
《当日はリフト料金無料》  
《スノーランタンコンテスト》
- 1/26(土) スノーランタンコンテスト
- 1/27(日) 自然観雪まつり
- 2/17(日) カービングスキー大会
- 3/3(日) スノーボード大会
- 3/17(日) ファイナルデー

### ▼問い合わせ先

朝日自然観 ☎83-7111

## 春 夏 秋 冬

編集後記

▼町内のりんご園をいくつか取材。休みということもあり、子どもたちが一生懸命お手伝いしている姿が目につく。親子で話す明るい声が園内に響いている。

▼収穫作業の手を休めてもらってインタビュー。今はりんごの価格が低く厳しい時代なので、「大変だよ…」という言葉が多く聞かれた。でも「大変だよ」の後に「けれど、がんばらなきゃ」という言葉が必ず聞かれた。

りんご生産者みんなが、がんばっている。

▼りんご。言わずと知れた町の基幹作物、他に誇れる特産物だ。町でも「高品質りんご対策事業」「りんご銘柄産地確立事業」などを予算化しりんごの振興に、がんばりたい考えた。

▼厳しい今だからこそ、日本一のりんごに誇りを持ち、日本一のりんごの里を大いにPRしていかねば!

(F)